

- 東北観光博を通じて、設定された30箇所の各ゾーンが、どれだけ集客できたかを把握することを目的に、GPSで取得された位置情報（ビッグデータ）を活用
- 各ゾーン毎の集客力等を明らかにするとともに、観光客の行動を分析

## ◇使用データ

- ・株式会社ゼンリンデータコム「混雑統計」データ

## ◇把握する項目

- ・全30ゾーン毎の
  - ①「滞在時間の分布」
  - ②「来訪者数の宿泊割合（宿泊者数/来訪者数）」
  - ③「当該ゾーンへの来訪前後に訪れているゾーン及びその比率」
  - ④「当該ゾーンでの非宿泊者が前後に宿泊しているゾーン及びその比率」

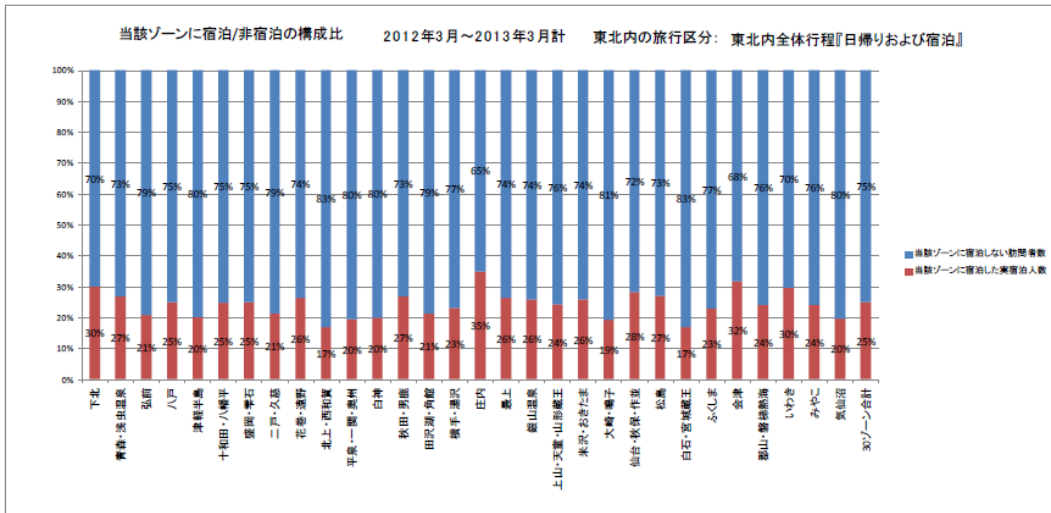
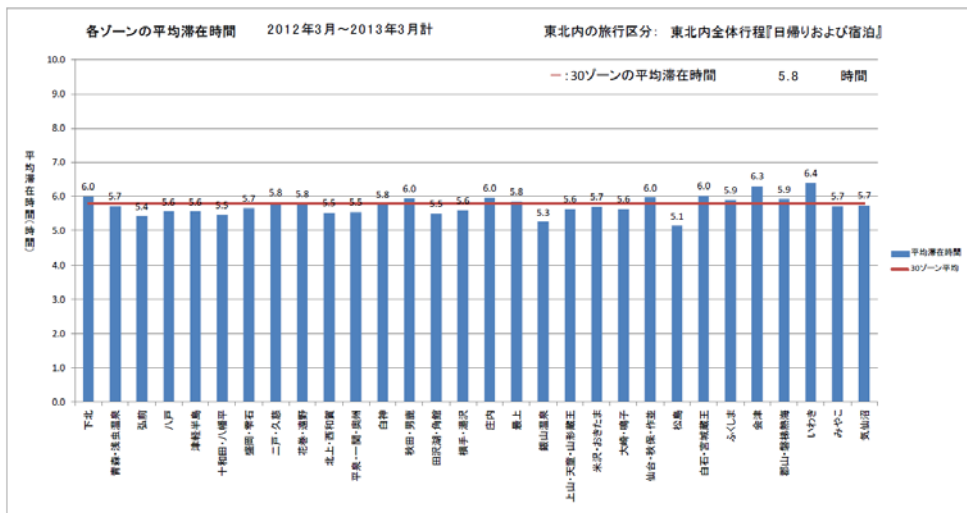
## ◇調査期間

- ・平成24年3月～平成25年3月（13カ月間）  
※平成24年3月1日～平成25年2月14日の取得データを分析  
平成25年2月～3月分については、前年同月などのデータから推定



# 滞在時間の分布・宿泊割合

- 全ての来訪者を対象にした場合、30ゾーンの平均滞在時間は5.8時間であった。
- 旅行形態区分で見ると「日帰り」が5.8時間、「1泊」が5.6時間、「2泊以上」が5.9時間であり、比較的東北内に滞在する日数が長い方が、1ゾーンでの滞在時間も長い傾向がみられた。
- 全ての来訪者を対象にした場合、30ゾーンの合計では宿泊比率は25%であった。



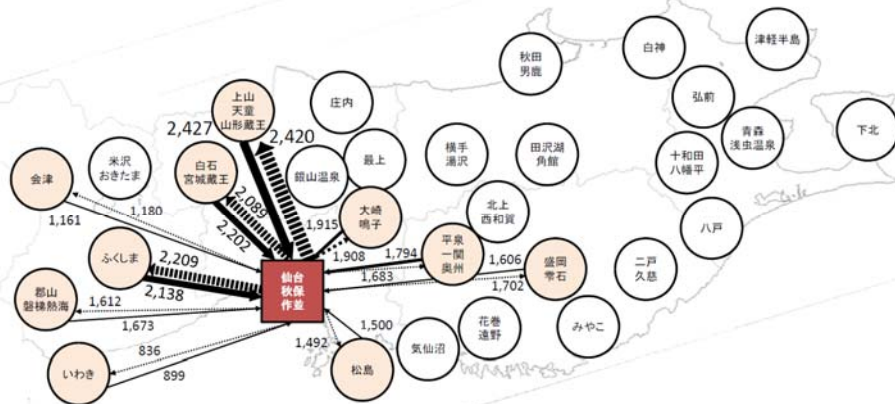
- 各ゾーンの平均滞在時間
  - ・ 滞在時間3時間以上の来訪者を集計
  - ・ 最小値：松島ゾーン (5.1時間)
  - ・ 最大値：いわきゾーン (6.4時間)

- ゾーン別の宿泊/非宿泊の構成比
  - ・ 日付を跨ぐ7時間以上の滞在を宿泊として集計
  - ・ 最小値：北上・西和賀ゾーン  
白石・宮城蔵王ゾーン (17%)
  - ・ 最大値：庄内ゾーン (35%)

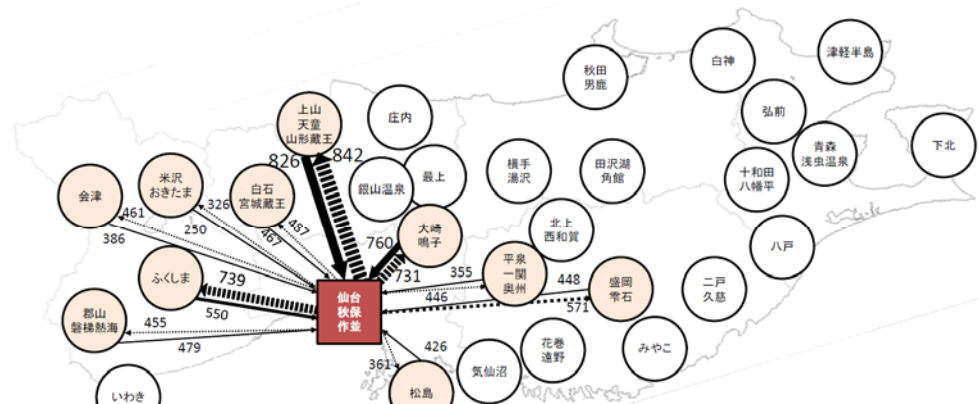
# ゾーンへの来訪前後に訪れているゾーン

- 訪問者数が約1,600万人と最大の「仙台・秋保・作並ゾーン」を例示。
- 当該ゾーンを訪問した観光客（日帰り・宿泊の合計）の内、その前後に他のゾーンを訪問した観光客の比率は、14.3%。この比率は、東北観光博全ゾーンの中で最も低い比率となっている。
- 前後の訪問ゾーンとしては「上山・天童・山形蔵王ゾーン」「ふくしまゾーン」「白石・宮城蔵王ゾーン」の比率が高くなっている。
- また、東北エリアで宿泊する場合、「上山・天童・山形蔵王ゾーン」で宿泊した後「仙台・秋保・作並ゾーン」を日帰りで訪問する観光客、「仙台・秋保・作並ゾーン」を日帰りで訪問した後「上山・天童・山形蔵王ゾーン」に宿泊する観光客が多い。

【仙台・秋保・作並ゾーンを訪問した観光客がその前後に立ち寄ったゾーン（2012年3月～2013年3月）】  
 <矢印は、その前後のゾーン立ち寄り数が上位10位のものを表示>



【仙台・秋保・作並ゾーンに宿泊しなかった人が、その前後で宿泊したゾーンの比較（2012年3月～2013年3月）】  
 <矢印は、その前後のゾーンの宿泊者合計数が上位10位のものを表示>



— : ①当該ゾーンを訪問する前に立ち寄ったゾーンからの移動  
 - - - : ②当該ゾーンを訪問した後に立ち寄ったゾーンへの移動  
 100 : 入込客数(百人)

— : ①当該ゾーンに立ち寄る前に宿泊したゾーンからの移動  
 - - - : ②当該ゾーンに立ち寄った後に宿泊したゾーンへの移動  
 100 : 入込客数(百人)